

炭酸水素ナトリウム
静注7%「NP」
配合変化試験

～ pH変動試験～

炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」のpH 変動試験

1. 試験目的

炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」は、日本薬局方 炭酸水素ナトリウム注射液である。
今回、本製剤の pH 依存性の配合変化を予測するために pH 変動試験を実施したので報告する。

2. 試料

炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」

3. 試験方法¹⁾

炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」 10mL をとり、0.1mol/L 塩酸または 0.1mol/L 水酸化ナトリウム水溶液をもって滴定し、持続的な外観変化が認められたpH（変化点pH）および滴定量（mL）を測定した。10mLの両試液を滴加しても何ら外観変化の見られない場合、その時点のpHを測定した（最終pH）。

4. 試験結果

試料名	試料 pH	変化点までに要したmL数	最終pH または 変化点pH	pH 移動指数	変化所見
炭酸水素ナトリウム 静注7%「NP」	8.32	0.1mol/L HCl 10	7.30	1.02	発泡
		0.1mol/L NaOH 10	9.12	0.80	変化なし

5. 参考文献

1) 幸保文治、注射薬を考える（1988）、メディカルトリビューン